

第2次京田辺市産業振興ビジョンの策定に係る パブリックコメント結果

- (1) 案件名 第2次京田辺市産業振興ビジョン（案）
- (2) 募集期間 令和8年1月5日（月）から令和8年2月3日（火）まで
- (3) 意見提出者 2名
- (4) 意見の数 4件
- (5) 意見への対応内訳

対応区分	件数
(計画 or 条例) に追加又は修正するもの（追加・修正）	0件
(計画 or 条例) に趣旨を記載済みのもの（趣旨記載）	0件
(計画 or 条例) の（実施 or 施行）段階で参考とするもの（参考）	3件
その他	1件
合計	4件

整理番号	ご意見の概要	対応	ご意見に対する考え方
1	<p>本ビジョン案では、地域産業の魅力発信や人材育成、事業高度化促進などが示されており、その方向性に大きく共感しています。これらをより実効性のあるものとするためには、地域の企業と、子どもおよび保護者との接点を意識的に増やしていく取組と、事業者支援における金融機関との連携を組み合わせて進めることが重要ではないかと考えます。</p> <p>現状では、子どもや保護者が地元企業の存在や仕事の内容を知る機会は限られており、地域にどのような産業や事業者があるのかを実感しにくい状況があります。そのため、子ども向けの体験型イベントや、保護者同伴で参加できる取組など、企業と家庭を結びつける接点づくりは、将来の人材育成や地域産業への関心を高める上で有効だと考えます。こうした場は、企業にとっても自社の技術や仕事の魅力を地域に伝える機会となり、地域との関係性を深めることにつながります。</p> <p>あわせて、本ビジョン案の「事業高度化促進」に記載されている、大学・研究機関と事業者とのニーズのマッチングについては、地域の金融機関との連携を加えることで、より幅広く実効性の高い支援につながるのではないかでしょうか。地元の金融機関（地方銀行や</p>	参考	<p>市内企業の将来的な人材確保の観点から、子どもや若年者に地元企業の魅力や事業内容を知ってもらうことは重要であると考えています。また、将来の就職先として選択肢になるかは、保護者の理解が非常に大きいと認識しており、現在も子どもとともに保護者も参加できるイベントを実施しているところです。引き続き、市内企業を知る機会となるよう本取組を進めてまいります。</p> <p>地域の金融機関は、日頃から事業者との関わりの中で、各事業者の経営課題や強みなどを把握されていることは認識しています。市は、商工会等の商工団体と連携しながら、市内企業のニーズや大学・研究機関のシーズを結びつける事業を今後も実施していく考えですが、ご意見のとおり金融機関との連携も非常に重要であると考えています。今後、アクションで進めていく事業高度化促進については、金融機関との連携も意識し、より効果的な支援となるよう努めてまいります。</p>

整理番号	ご意見の概要	対応	ご意見に対する考え方
	<p>信用金庫等)は、日頃から多くの事業者を訪問し、事業内容や経営課題、強みやニーズを把握しており、企業同士を結びつけるビジネスマッチングの取組も進めています。</p> <p>金融機関が持つ企業ネットワークやマッチング機能に、行政や大学・研究機関が持つ知見や支援策が加わることで、単独では生まれにくい企業間連携や新商品・新サービスの創出につながる可能性が高まると考えます。また、事業高度化の背景には、将来的な人材確保や事業承継といった課題もありますが、これらについても金融機関は事業者と継続的に関わる中で十分に認識しており、市と連携することで、より持続性のある支援が可能になると考えます。</p> <p>今後の産業振興施策の検討・実施にあたっては、企業と子ども・保護者との接点づくりを通じた将来世代へのアプローチと、金融機関との連携による事業高度化支援を一体的に進める視点を取り入れていただくことで、地域産業の持続的な発展につながるのではないかと考えます。</p>		
2	全体を一読させていただき、誰にとってもわかりやすい内容だと感じました。その中で、P3「目的」の2段落目、	その他	文章中の表記方法や言い回しについては、ご意見を参考にいたします。

整理番号	ご意見の概要	対応	ご意見に対する考え方
	<p>「新型コロナウイルス感染症の世界的流行による未曾有の経済停滞にさらされた一方」と、そのあとに続く「デジタル化進展」の文章のつながりを少し改めてもらえたらい思います。コロナ禍が我が国のデジタル化進展に寄与したという意味合いの表現がよろしいのではないかでしょうか。</p>		
3	<p>P55 基本方針1 市内外から集客できる魅力ある店舗の創出 京田辺市やその周辺に、多くの大型商業施設ができ、幹線道路沿いには多くのチェーン店があふれています。私も、日常的には便利な店で、ついつい日々の買い物を済ませてしまう傾向にあります。 そのような中、市内では、松井山手や新田辺で、様々なイベントを開いていただいている。活気あるイベントが多く、私も子供達と一緒に行くのを楽しみにしてきました。個人店の方々も出店され、頑張ってお店のアピールもされています。個人的には、できれば意識して市内のお店を利用していきたいと感じています。</p>	参考	<p>アクションプランにおいて、商工会や任意団体が実施するイベントへの支援を行い、市内店舗が魅力や認知度向上のために出店する機会を促進してまいります。また、今後、市民に対しても市内店舗の利用を促すような情報発信についても検討いたします。</p>
4	P59 基本方針1 ストーリー性・テーマ性のある観光地域づくり	参考	観光協会のイベントに限らず、会場に“お店が出ている”ことは集客促進につながる可能性があるだけで

整理番号	ご意見の概要	対応	ご意見に対する考え方
	<p>観光協会が観音寺のライトアップや、花見ウォークをされていると思います。私も、以前から家族と一緒に参加させてもらうことがあります、以前は観音寺の広場で露店やキッチンカーなどが出ていたと思いますが、最近、そういうお店が出ていないので残念です。</p> <p>参加する人が京田辺っていいところだなと思えること、京田辺のお店もお金を落としてもらえるような、そんなイベントにしていってもらいたいです。</p>		<p>なく、出店者にとっては自身の店舗の魅力や認知度が向上し、消費拡大にもつながるものと考えています。したがいまして、観光消費の拡大は、本市の観光の課題でもあることから、アクションプランでの施策を通じて取り組む必要があると考えています。</p>

問い合わせ先 産業振興課

電話 0774-64-1364

Eメール sangyo@city.kyotanabe.lg.jp